

兵庫県立近代美術館所蔵・山村コレクションから

戦後美術の断面

1996年11月23日(土・祝)ー12月27日(金)

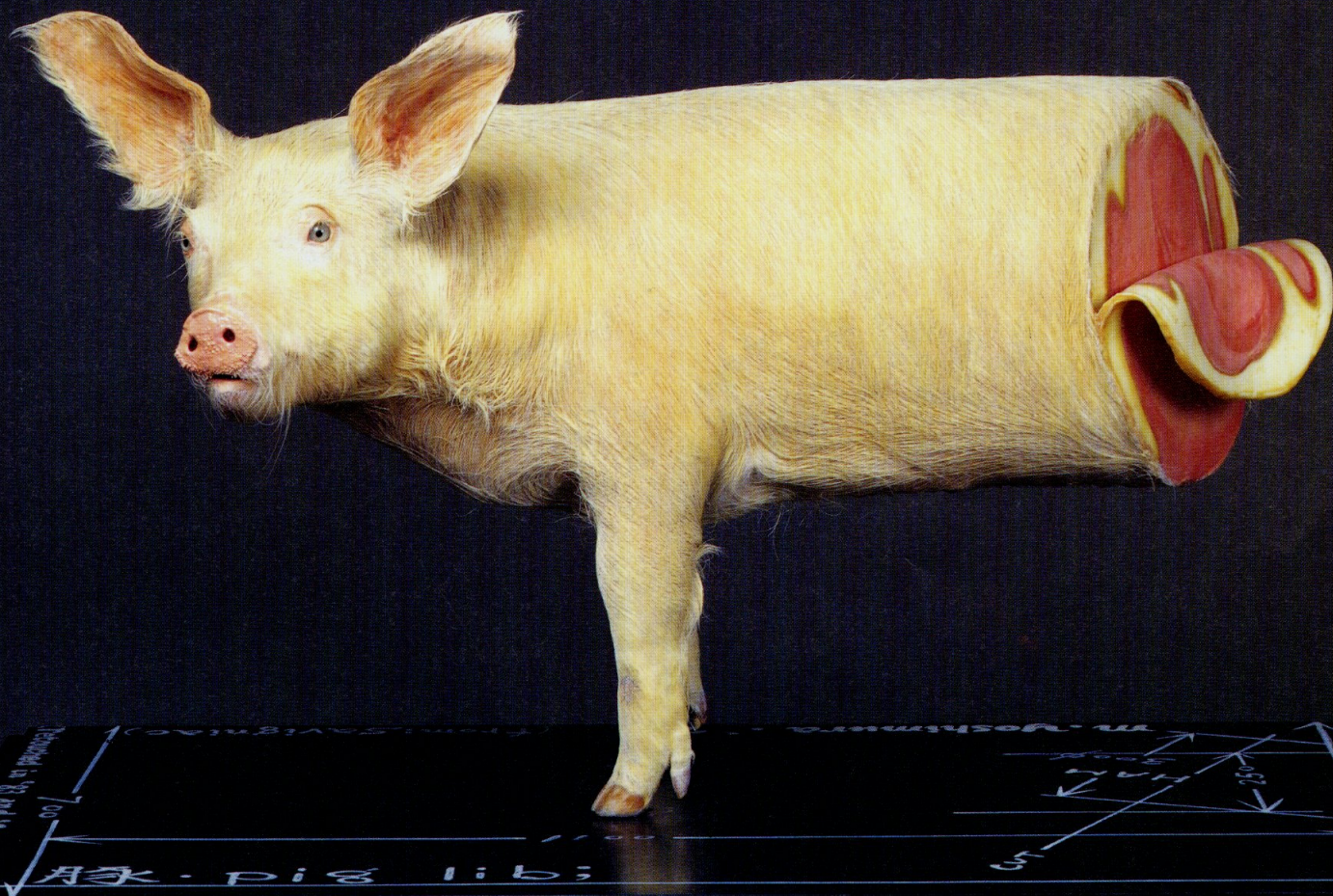
休館日:月曜日 ただし12月23日(月・祝)開館、翌24日(火)休館

開館時間:午前10時ー午後6時(入場は午後5時30分まで) 毎週金曜日は午後8時まで(入場は午後7時30分まで)

入場料:一般800円(640円)/大・高生560円(450円)/中・小学生240円(200円) ()内は前売・団体30名以上料金

ハローダイヤル:043-227-8600

主催=千葉市美術館 協力=兵庫県立近代美術館



吉村益信 豚・pig lib; 1971/83-95

●講演会のご案内

演題:「山村コレクションと日本の戦後美術」
講師:尾崎信一郎氏(国立国際美術館研究員)
日時:11月24日(日)午後2時より
場所:千葉市美術館11階講堂
※先着順に150名まで受付

●ギャラリートーク

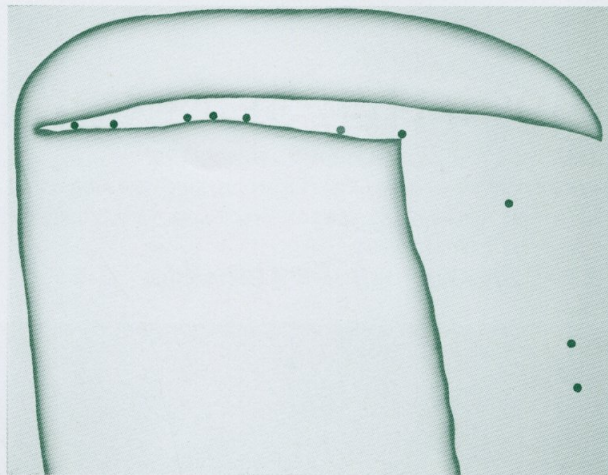
日時:12月7日(土)/23日(月・祝) いずれも午後2時より
場所:8階展示室前にて受付

「山村コレクション」は兵庫県西宮市に在住された実業家、故・山村徳太郎氏が30数年の歳月をかけて収集した現代日本美術の作品群です。山村氏は生前からコレクションが公共の財産となることを望み、氏の歿後、166点の作品が兵庫県立近代美術館の所蔵となりました。他に類例をみない系統的な収集と作品の質の高さが高く評価され、現在では国内はもとより海外からも注目を集めています。今回は、この中から53作家・70点の作品によって展覧会を構成します。

ひとりのコレクターが「アブストラクトと人間くさい前衛のはざま」という視点によって収集したかずかずの作品は、現代美術を体験・理解する上で良き手引きとなるでしょう。また、首都圏でこれほどまとまって「山村コレクション」が公開されることは初めてであり、有意義な機会になると思われます。



斎藤義重 ベンチ 1967



元永定正 ボンボンボン 1972



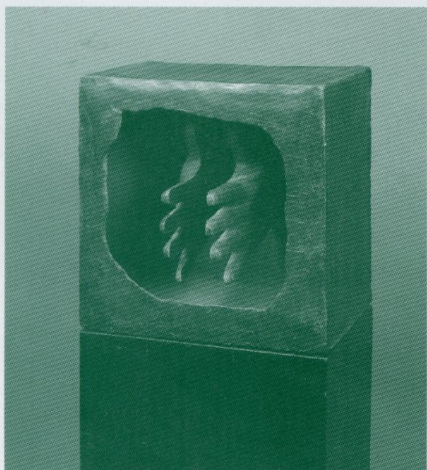
小清水 漸 作業台一曲水一 1983/93



篠原有司男 女の祭 1966



白髪一雄 黄帝 1963



八木一夫 出発 1974

千葉市美術館
〒260 千葉市中央区中央3-10-8
Telephone:043-221-2311

JR 東日本千葉駅利用

- 東口より徒歩約15分
- 京成バス大学病院行「大和橋」下車徒歩1分
- 小湊バス姉崎行「広小路」下車徒歩1分
- 無料巡回シャトルバス・チーバス
「中央区役所・美術館前」下車
→19番乗場から11:00-18:00
毎時05分と35分に発車(水曜日運休)

京成電鉄千葉中央利用

- 東口より徒歩約10分

※来館者用駐車場は少ないので、自家用車での来館はご遠慮ください。

